

## 講義レジュメ

|                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 内容・テーマ                     | 講師 及川 聡                  |
| <u>グローバルな視点による伝統・文化の継承</u> | 期 日 <u>令和元年 10 月 3 日</u> |

東京・渋谷にある國學院大學が大学の研究成果の公開施設として有する國學院大學博物館は、90年の歴史を持つ考古や建学の精神と密接に関わる神道の研究を始めとして、大学の学術研究及びその歴史を展開している。近年、日本の文化が見直され、また海外から注目されている状況と、一方で国内では、それらを自国の誇るべき文化であるという認識、及びその基盤となる知識や体験が十分でないように思われる。そこで、当館では、より広く人材育成、地域活性化、さらにはグローバル化が果たすことができる社会に開かれた新たな大学博物館の形を目指した。文化庁によって募集が行われた博物館を支援する補助事業はまさしくその課題に挑むことができる事業スキームであり、当館が採択された平成26年度から平成29年度の当該事業を紹介し、“グローバルな視点による伝統・文化の継承”をどのように具現化したのか、そのための背景や組織の変遷、さらに事業の効果や今後の課題に言及したい。

予定配布資料

- レジュメ（本資料）
- パワーポイント（4 アップ白黒両面）
- 館リーフレット
- ブックレット（英語版）

インデックス

- イントロダクション（5分）
  - ・文化庁支援事業の概要
  - ・当館概要とコンテンツ基本情報
  - ・当館入館者数推移
- 1) 國學院大學について（5分）
- 2) 國學院大學博物館までの経緯（15分）
- 3) 文化庁支援事業の申請の方針・狙い（15分）
- 4) 文化庁支援事業詳細（20分）
- 5) 事業終了後の効果（10分）
- 6) 課題と今後（5分）

## 〔参考文献〕

東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業報告書（平成26年度）  
他、本学及び当実行委員会が発刊した刊行物